

数学・理科甲子園2016実施要項

1 目 的

高校生が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的に問題を解決するとともに、論理的に説明することにより科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高める。

また、本大会を「科学の甲子園全国大会」の兵庫県予選と位置付け、科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げる。

2 主 催 兵庫県教育委員会

後 援 甲南大学

3 期 日

平成 28 年 11 月 5 日（土）

4 会 場

甲南大学 講堂兼体育館等

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

5 日 程

9:30～10:00 受付
10:00～10:20 開会式
10:20～11:50 予選（個人戦、団体戦）
12:50～13:00 本選進出チーム発表
13:00～14:20 本選
14:25～14:55 チャレンジマッチ
15:00～16:30 決勝進出チーム発表、決勝
16:30～17:00 決勝の集計、表彰、講評、閉会式

6 対 象 者

兵庫県内にある国立、公立、私立の高等学校の1、2学年の生徒、中等教育学校後期課程及び高等専門学校等に在籍している同年次の生徒または学生

7 対戦方法及び順位の決定

- ① チーム対抗戦とする。（1校1チーム6～8名）
- ② 数学、理科、科学技術等に関する基本的な問題、応用問題、総合問題を、チームで協働して筆記競技、実技競技で競う。
- ③ 予選（筆記競技）：チーム対抗で、知識を問う問題および知識の活用について問う問題を、個人戦（数学分野2題、理科分野6題）と団体戦（数学分野2題、理科分野6題）の総合計により、上位16チームが本選に進出する。

本選（実技競技）：16チームが、数学や理科にかかわる思考的、工作的問題や、実験、観察などの問題に挑戦し、予選（筆記競技）の成績とあわせて、上位4チームが決勝に進出する。

チャレンジマッチ：予選敗退チームによる、勝ち残り戦で実施し、優秀チームに奨励賞を授与する。

決勝（実技競技）：4チームが科学的知識を応用して総合的な課題に取り組み、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを用いて問題を解決する力を競い、予選及び本選の成績も考慮して優勝、準優勝を決定する。

8 表 彰

優勝：1 チーム、準優勝：1 チーム、3 位：2 チーム、奨励賞：若干チーム

優勝校は、平成 29 年 3 月 17 日（金）～20 日（月）に実施される「第 6 回科学の甲子園全国大会」に兵庫県代表として出場する。

9 チームと引率教師

1 校 1 チーム 6～8 名（同一学校の高等学校等 1、2 学年（年次）のチーム）

各チームに引率教師が 1 名